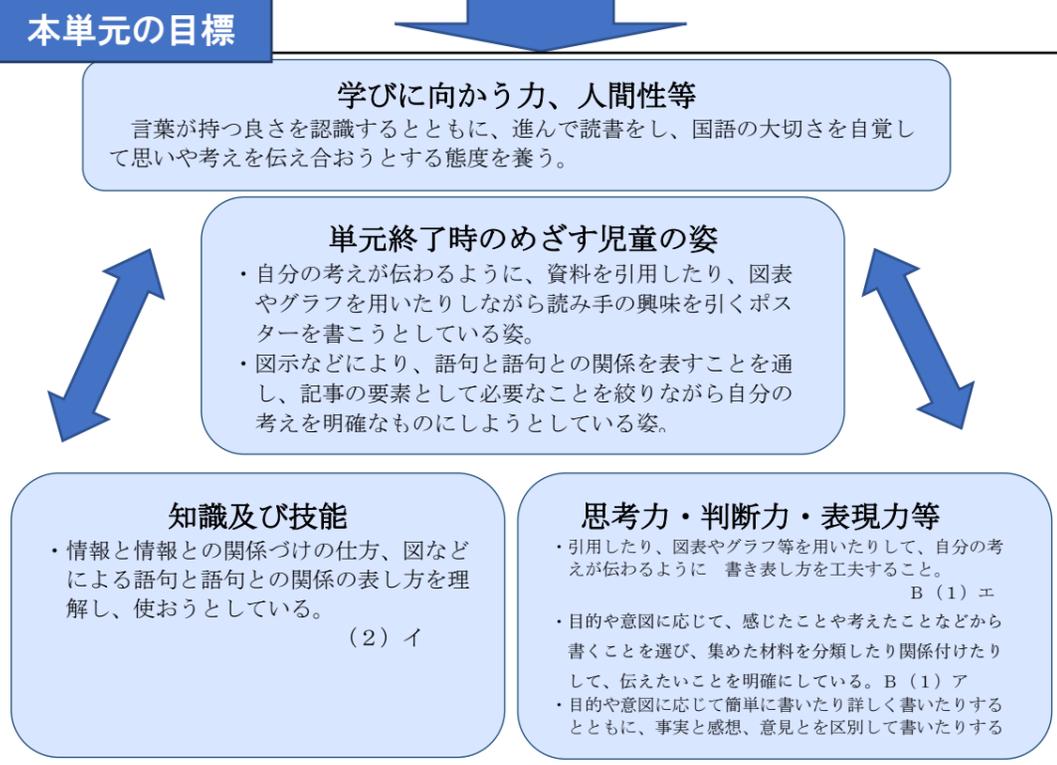


[単元を貫く問い] **自分の考えを伝えるためには、どのような書き表し方を工夫すればいいのだろう**

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)
 [第1学年及び第2学年]
 ◆語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。
 ・おもい出してかこう (1年)
 ・あそび方をせつめいしよう ・この人をしょうかいします (2年)
 [第3学年及び第4学年]
 ◆自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。
 ・調べて書こう、わたしのレポート (3年) ・みんなで新聞を作ろう (4年)
 [第5学年]
 ◆目的や意図に応じて簡単に書いたりするとともに、事実と感想、意見と区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
 ◆引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること
 ・事実と考えを区別しよう ・環境問題について報告しよう



この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)
 [中学校第1学年]
 ◆根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること
 [中学校第2学年]
 ◆根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。
 [中学校第3学年]
 ◆表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること

他教科等との関連
 ・学級活動

言語活動

自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて防災を呼びかけるポスターを作る

| | | |
|--|--|---|
| <p>【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●単元のゴールを確認し、学習の見通しを立てる。南海地震について、誰に、どんなテーマで伝えたいのかを考える。 【主】 ●自分が伝えたいことを明確にし、キャッチコピーを決め、必要な情報や資料を収集する。 【主】 | <p>【7時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学習材を用いて、報告文を書く際の書き表し方を読み取る。 【知】 ●キャッチコピーに合う具体的な見出しを考える。 【知】 ●収集した情報について意見交流をしながら、より伝えたいことに合った資料を選択する。 【思①】 ●割り付けを考え、自分が伝えたい見出し1の報告する文章を書く。 【思③】 ●2時間で下書きを仕上げる見通しを持たせ、図表やグラフと、文章の繋がりに着目しながら、それぞれの計画に沿って書き進める。 (2時間) 【本時1/2】 【思②】 ●筋道の通った文章になるように、「言葉のたから箱」や「国語辞典」等を使い、読み手を意識して、言葉や表現の工夫を探る。 【思③】 | <p>【2時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●報告文を書く時のポイントに沿って推敲し、清書をする。 【思①】 ●友だちと読み合い、読み手に分かりやすい工夫や良さについて伝え合い、単元の学習を振り返る。 【主】 |
|--|--|---|

働かせている児童の姿

| | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識を持って、自分が伝えたいことに合う言葉を選び、学習の見通しを持って、自分の伝えたいことに合うキャッチコピーを考えようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・複数の語句を丸や四角で囲んだり、語句と語句を線でつないだりするなどして情報を整理している。 ・集めた材料を整理し、図表やグラフなどを用いたりして伝えたいことを明確にしようとしている。 ・集めた材料を、目的や意図、相手に応じて、自分の考えに合った適切なものを選んだり、優先順位を考えて並べたりしようとしている。 ・事実と自分の考えの繋がりを意識しながら、文章の筋道を整えたり、本や文章などから、必要な語句や文を抜き出して書いたりしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなど、資料を用いることで、伝えたいことをより効果的に表現できることを実感したり、これからの学習に生かそうとしている。 |
|---|--|---|

評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。(2) イ | <ul style="list-style-type: none"> ①目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。 B (1) ア ②引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 B (1) エ ③筋道の通った文章になるように、文章全体の構成や展開を考えている。 B (1) ウ | <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く、読み手の興味を引く書き表し方を考え、学習の見通しを持って報告する文を書こうとしている。 |

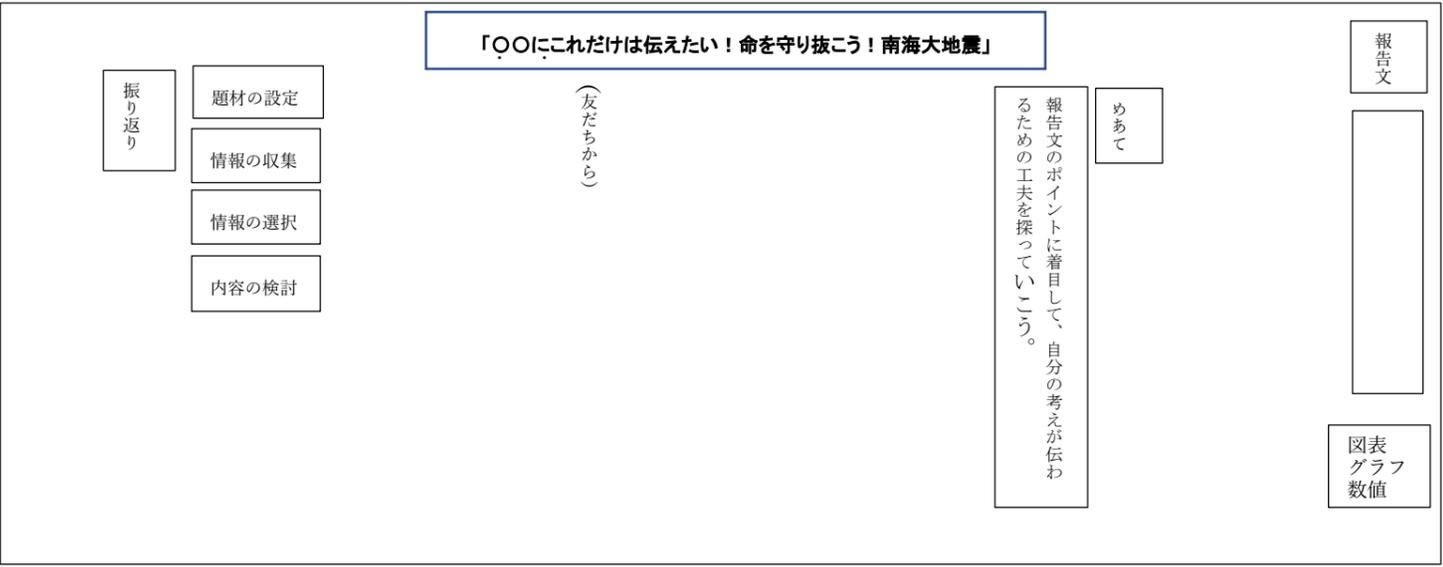
児童の実態と指導観

本単元の学習指導にあたって、学級活動で事前に南海地震についての防災学習を行うことで、本単元との関連を図り、地震についての危機感や、いざというときの行動の仕方、それを伝えたい相手についての意識をもって臨んだ。

児童は、これまで「説明・報告」の系統として、5年生の「環境問題について報告しよう」の学習では、資料を活用し、グラフや表における着目点や資料の引用の仕方などを学習してきた。また、6年の4月には、「原因と結果に着目しよう」において、原因と結果を表す言葉を意識して、分かりやすい文章を書く学習も行ってきている。

本単元では、自分の身近な人を想定し、その人たちが災害にあわないように、あるいは、被害を少なくできるようにと、相手や状況を具体的にイメージしながらメッセージを届けるという活動に取り組む。相手意識を具体的に持ち、その人たちに思いを届けるには何をどうすればいいかという視点を持つことで、既習の技能を生かしながら学習活動に向かわせたいと考える。

本年度の全国学力・学習状況調査の自校採点の結果では、国語科において「書く」領域が31.6pであり、課題が見られた。また、記述問題では、40.4pとなっており、特に、図表やグラフを用いて自分の書き表し方を工夫することや、自分の考えをまとめることの弱さも見られた。そこで、本単元の学習を通して、図表やグラフを用いて、自分が伝えたいことを分かりやすく効果的に伝える手段や、文章を書く際に、必要なことを絞って書き表す方法を掴ませたい。また、読んだり書いたりする学習過程を往復することで何度も吟味しながら本単元での付きたい力に向かわせる工夫を設定していきたいと考える。



◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫
 児童が南海地震から命を守るために、この人にこのことを伝えたいと思う相手をそれぞれが選ぶことで、意欲付けや本気になるための設定とする。また、自分の伝えたいことに合うキャッチコピーや見出し、資料と関連付けながら、対話を通して探り、相手意識を常に持ちながら学習に向かわせるようにする。
 また、「書くこと」における学習過程を黒板に掲示して可視化し、その過程の中で、「書く」単元ではあるが、読んだり、書いたりを行ったり来たりしながら展開する手段でポスターを仕上げていく。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て
 自分が選択した図表やグラフを用いて、読み手に分かりやすく効果的に伝えるための工夫に着目させる。また、その学習に向けて、自分が選択した資料と文章に印をつけながら関連付けを図ったり、具体的な数値を示したり、資料と文章とのつながりや、事実と自分の考えになっているかなど書き表し方の工夫をしながら進められるようにする。



| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>1. 単元のゴールを共有し、これまでの学習を基に報告文に必要なポイントを確認する。</p> <p>T これまでに見出し1の文章を書いてみましたね。 T 工夫を凝らした文章ができましたか? C できました。 C できたけど、工夫がこれでいいかどうかはまだちょっと不安。</p> <p>T では、見出し1を書いてみて、困っていることは何ですか? C 文章が長くて、このままどう書いていいのかわからない。 C 資料と文章が合っているのかわかるか… C もっと工夫をしないといけないと思っているけど、どうしていいのかわ迷っている。 C 書いた文章と見出しが合っていないような気がする。 T 今日は、見出し1は仕上げてもらいたいと思っています。</p> <p>2. めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> めあて 報告文のポイントに着目して、自分の考えが伝わるための工夫を探っていこう </div> <p>T 自分はどんなことから始めていけばいいのでしょうか。 T 自分の今日のめあてを考えてみましょう。</p> | <p>3. 友だちと、どんな工夫をすればより自分の考えが伝わる文章になるのか伝え合い、個別のめあてに向けて進んでいく。</p> <p>T 下書きを書く上で困っていることを伝え合って、友だちとアドバイスし合いましょう。 C 何だか文章が長くて何が言いたいかわからなくなった。どうすればいいのかなあ。 C この資料にしたけど、これと文章があっているのかちょっと心配。 C 書き始めは、問いかげの言葉からにしてみようかなあ。</p> <p>(地震の怖さ) ・家族があまり怖いと思っていないから、地震の写真を選んでみたけど、これでいいのかな。</p> <p>(備え) ・うちの家は、備えを準備していない。すぐに準備を始めてもらいたいけど、この資料で伝わるかな。 ・アンケートを取って見て、この数値を入れてみようかと思うけど、どうかな。</p> | <p>4. 再度、自分の文章を吟味し、各自のめあてに向けて学習を進める。</p> <p>C 友だちに言ってもらって、もう書けそう。書いてみよう。 C 書き始めたけど…何だか、また、ここが変になった。ちょっともう一回聞いてみよう。</p> <p>T ここまで書いてみて、自分の文章にどんな変化がありましたか? C 数値を入れたらいいと言ってもらったので入れてみたら、説得力ができましたと思います。 C 写真しかなかったけど、表やグラフを入れたら一目で分かるか教えてもらって、資料を増やしてみました。</p> | <p>5. 学習を振り返る。</p> <p>T 友だちから学んで、変化したりしたのはどんなところですか。 また、明日はどんな学習を目指しますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <本時で目指す児童の姿> 自分の考えが伝わるための工夫を理解し、友だちとの交流を通して、自分の文章に生かそうとしている姿。 </div> |
|--|---|---|--|

| | | | |
|--|--|--|--|
| <p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時での学習の見通しを持ち、自分自身のめあてを決めて授業に臨むように声をかける。 | <p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば、ポスターで自分の考えが伝わるようになるのか、これまでに確認してきた工夫のポイントを示し、それを基に考えていけるように助言をする。 ・友だちとの推敲で、どんなアドバイスをもらったのかを全体で共有する。 | <p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの助言を通して参考になったことを使って、個人思考をしながら各自に任せて学習を進めるように助言する。 | <p>〔指導上の留意点〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉にこだわるために、どこを工夫したいのかを考えさせ、次時に生かせる視点で振り返りをさせる。 |
|--|--|--|--|

【思②】(評価方法) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
(ポスター・発言)